がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	イムブルビカ(MCL)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発又は難治性マントル細胞リンパ
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MCL-1
登録日•更新日	平成 29 年 2 月 28 日
削除日	
出典	適正使用ガイド Lancet 2016;387 770-778 Cancer Sci. 2016;107 1785-1790
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	イムブルビカ	140mg	560mg/body	□IV □DIV □IVHポート □側管 ■その他(内服)	1回/日	連日
INO. I						

1コースの期間	日	
投与間隔の短縮規定	□短縮可能()・■短縮不可能	
計算後の投与量上限値	110%	
計算後の投与量下限値	50%	
減量·中止基準	【開始基準】 ANC≥750/μL、血小板 ≥50,000/μL、T-Bil<1.5mg/dL AST<100IU/L ALT<150IU/L SCr<2.0mg/dL 【中止・減量基準】 Grade 3以上の副作用が発現した場合には、Grade 1以下に回復するまで本剤を休薬すること。再開する場合には、以下の目安を参考に減量又は中止すること。 用量調節の目安 発現回数:1回 回復後の再開時投与量:1日1回560mg 発現回数:2回 回復後の再開時投与量:1日1回420mg 発現回数:3回 回復後の再開時投与量:1日1回280mg 発現回数:4回 回復後の再開時投与量:投与中止	
前投薬		
その他の注意事項	禁忌:中等度以上の肝機能障害のある患者 イトラコナゾール、クラリスロマイシンを投与中の患者 その他の注意事項 併用注意薬剤:CYP3A誘導・阻害作用を有する薬剤 :抗凝固剤又は抗血小板剤	

記入者	伊勢崎竜也
確認者	竹内正美